

第 50 回
荒川区政世論調査
＜報告書＞

令和8年1月
荒 川 区

はじめに

区政運営のための指針づくりや、施策を行う上で大切なことは、区民の皆様の意見・要望を適切に把握・分析した上で、区民が真に望む区政を運営していくことです。そのため、区では、世論調査、区民の声などの広聴活動を積極的に実施しています。

また、区では現在、現行の基本構想の策定から間もなく 20 年を迎えることから、2040 年の荒川区の将来像や政策の方向性を定めるため、新たな「荒川区基本構想」の策定を進めています。策定にあたっては、区民の多様な声を把握するため、アンケートの他、ワークショップを通じて区民の生の声を聴くなど、様々な機会を捉えて区民参画を実施しています。

今年度の世論調査では、「居住と生活環境」「広報活動」「荒川区の魅力」「防災対策」「地域とのつながり・暮らし」「人権意識」「区政への関心と要望」の 7 項目について伺いました。

この調査によって得られた結果は、よりよい区政運営のための基礎資料として活用してまいります。併せて多くの皆様に参考にしていただければ幸いです。

おわりに、この調査にご協力くださいました区民並びに関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和 8 年 1 月

荒川区区政広報部秘書課

目 次

I	調査の概要	1
II	回答者の属性	7
III	質問と結果	13
IV	調査結果の要約	33
V	結果と分析	41
	1. 居住と生活環境	43
	(1) 居住年数	43
	(2) 定住意向	45
	(2-1) 住み続けたい理由	48
	(2-2) 転居したい理由	49
	(3) 住みよさ評価	50
	(4) まちづくりを進めていく上で重要な課題	53
	2. 広報活動	59
	(1) 区政に関する情報の入手方法	59
	3. 荒川区の魅力	63
	(1) 荒川区の魅力だと感じているもの	63
	(2) 荒川区の魅力を人に勧めたいか	67
	(3) 荒川区に愛着を感じているか	71
	4. 防災対策	74
	(1) 災害時に備えた食料や飲料水の備蓄	74
	(1-1) 災害時に備えた備蓄の量	77
	(1-2) 備蓄を行っていない理由	81
	(2) 災害用トイレの備蓄	84
	(2-1) 災害用トイレの備蓄の量	87
	(2-2) 災害用トイレを備蓄していない理由	91
	(3) 家具の転倒・落下防止	94
	(3-1) 家具の転倒・落下防止器具の未設置理由	98
	(4) 感震ブレーカーの設置状況	101
	(4-1) 感震ブレーカーの未設置理由	105
	5. 地域とのつながり・暮らし	109
	(1) 地域の行事や活動への参加頻度	109
	(1-1) 参加している地域の行事や活動	114
	(1-2) 地域の行事や活動に参加するようになったきっかけ	119
	(2) 住居周辺の知っている団体活動	124
	(3) 住居周辺の知っている団体	129
	(4) 興味または参加してみたい活動	134
	(5) 興味または参加してみたい団体	139
	(6) 地域活動へ参加できるようにするために最も必要なこと	144

(7) 地域の団体が取り組むべき課題	149
(8) 地域の人々とのつながりの必要性	154
(8-1) つながりがある方が良いと思う理由	159
(8-2) つながりがない方が良いと思う理由	162
6. 人権意識	164
(1) 人権が守られているか	164
(2) 関心のある人権問題	169
(3) 多様性を認め合う社会の実現に必要な取組	173
7. 区政への関心と要望	176
(1) 区政への関心	176
(2) 区政への意見・要望などの伝達方法	181
(3) 今後、区に力を入れてほしい事業	183
VI 自由記述	191
VII 集計表	221